

公立大学法人会津大学の
中期目標に係る年度別報告書

会津大学中期目標に係る成果指標 達成度	/	
------------------------	---	--

第1 教育の質の向上に関する事項	大項目の成果目標に対する達成度	/	
------------------	-----------------	---	--

No.	中期目標項目	成果指標							達成状況
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
	(1) 意欲と能力を持った入学者の確保（2項目）								
1	会津大学学部入学定員数の50%にあたる120名の女性志願者を確保する（R7:120名）	120	106						
2	入学定員充足率 平均100%（R7:100%） (学部) (博士前期) (博士後期) (短大)	107.5% 78.3% 150.0% 90.7%	100.0% 101.7% 180.0% 83.3%						
	(2) 学生の県内定着化（3項目）								
3	会津大学学部卒業者の県内就職率 中期目標期間終了時までに30%以上（R7:22%）	11.8%	22.5%						
4	短期大学部卒業者の県内就職率 平均58%以上（R7:58%）	54.3%	49.5%						
5	県内企業からの求人情報提供件数累計300件以上 (四大)（R7:累計100件） (短大)（R7:累計270件）	447 132	850 262						
	(3) 英語教育を通じた学生の能力向上（1項目）								
6	TOEICテスト600点以上の卒業生 累計200人以上 （R7:累計66人）	105	184						
	(4) 短期大学部における職業人育成教育（4項目）								
7	二級木造建築士試験受験資格取得希望者の取得率100%（R7:100%）	100.0%	100.0%						
8	栄養士免許取得希望者の取得率100%（R7:100%）	100.0%	100.0%						
9	幼稚園教諭二種免許取得希望者の取得率100%（R7:100%）	100.0%	100.0%						
10	保育士資格取得希望者の取得率100%（R7:100%）	100.0%	100.0%						
	(5) 学生への修学支援、進路支援、生活支援等（1項目）								
11	就職希望者の就職率100% （R7:100%） (学部) (博士前期) (短大)	98.4% 98.2% 99.2%	98.1% 100.0% 98.1%						
	(6) 国際競争力の向上と国際的に活躍できる人材の育成（2項目）								
12	日本人学生の留学経験者数 累計240人（R7:累計80人）	41	90						
13	地域との交流事業参加学生数 累計300人（R7:累計100人）	104	208						

公立大学法人会津大学の
中期目標に係る年度別報告書

【概 況】	
No.1	目標達成に向けて更なる取組の強化が必要である。今後の学生募集活動においては、女子学生学習奨励金や推薦人員の女子枠を高校訪問の取組等を通じ、より一層丁寧に高校側へ周知するとともに、受験生が高校在学中の早期段階から本学への興味、関心を高めてもらうことを目的としたオープンキャンパスや出前講座などに着実に取り組んでいく。さらに、女性在学生有志で構成される団体と連携し、志願者が自らの身近なロールモデルとして大学生活や将来を具体的にイメージできるような情報発信を通じて、女性志願者の確保に取り組んでいく。
No.3	目標達成に向けて順調に取組を進めた。本学学生は県内他大学と比べて県外志向が強いが、県内企業に特化した学内での就活イベントや県内企業から講師を招いたキャリア教育の講義など、全学的な取組により前年度比で実績を伸ばすことができた。引き続き、より低学年の早い段階から県内企業に重きを置いて、学生への情報提供等を行うとともに、県内企業に対する理解を深めるためのマッチングイベントの開催やインターンシップの紹介、学生が地域とつながり愛着を持てる取組など、県内就職率の向上に取り組んでいく。
No.4(短大)	目標達成に向けて更なる取組の強化が必要である。学生の首都圏等への県外志向が高まっていることなどにより、県内就職率が低下したが、一方で、県内企業の採用意欲も強く、今後は、県内企業へのインターンシップの斡旋など学生個々の希望に応じた支援をよりきめ細かに行うとともに、地域との連携事業を通じて県内企業に興味を持つ学生を増やす取組を推進し県内就職率の向上に取り組んでいく。
No.6	目標達成に向けて順調に取組を進めた。年度により学生それぞれの意欲等による数値のバラつきはあるものの、TOEIC高得点への単位認定制度や奨励金による学習支援など、着実な取組の積み重ねが成果に結び付いている。引き続き、授業科目である『TOEIC準備コース』における指導や勉強方法の個別支援など、英語教育に注力し、学生の英語力向上に取り組んでいく。
No.8(短大)	目標達成に向けて順調に取組を進めた。食物栄養学科において、学内外での実習や栄養士関連施設の見学を通じてキャリアプランを考える機会を設けるなど、資格取得希望者の支援に取り組み、希望者の取得率は100%となった。引き続き、インターンシップへの参加を促すなど、より具体的な就業体験が可能な環境を準備し、学生の資格取得の支援に取り組んでいく。
No.12	目標達成に向けて順調に取組を進めた。2025年度は、短期留学プログラムの派遣先を拡充するなど多様な海外派遣機会を提供し、留学経験者数の増加につなげた。引き続き、個別相談体制の充実、説明会の開催、奨学金制度の周知徹底など、きめ細かな支援策を講じながら留学希望者の増加に取り組んでいく。

第2 研究の質の向上に関する事項		大項目の成果目標に対する達成度		/				
No.	中期目標項目	成果指標						達成状況
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	
	(1) コンピュータ理工学分野での社会のニーズに応える研究(3項目)							
14	主要学術論文採択数（国際会議を含む） 累計1,800件以上（R7:累計600件）	373	726					
15	学術論文引用件数 累計27,000件以上 （R7:累計1,600件）	438	2170					
16	競争的研究資金採択 累計60件以上 （R7:累計20件）	10	21					
	(2) 短期大学部における研究成果の地域・社会への還元(1項目)							
17	公表された研究活動数（研究紀要記載論文含む） 累計600件（R7:累計200件）	100	193					

【概 況】	
No.16	目標達成に向けて順調に取組を進めた。競争的研究資金の採択に向け、2025年度は、申請書類記載に関する学内説明会の開催や記載漏れ防止のための申請書類の事前チェックなど、申請・応募へのサポートを充実させ、科研費申請件数が前年度比で増加するなど、積極的な応募につながった。引き続き、公募の周知、申請時のサポートを実施し、競争的研究資金の採択につなげていく。

公立大学法人会津大学の
中期目標に係る年度別報告書

第3 地域貢献及び復興・創生支援に関する事項

大項目の成果目標に対する達成度

/

No.	中期目標項目	成果指標						達成状況
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	
	(1) コンピュータサイエンス等の専門性をいかした地域貢献(4項目)							
18	産学連携の取組である会津オープンイノベーション会議(AOI会議)の開催件数 累計1,800件 (R7:累計600件)	351	720					
19	産学官連携協定締結自治体・企業総数 累計45団体 (R7:累計41団体)	39	41					
20	地域との協働・連携事業 短期大学部 累計120件以上 (R7:累計40件)	48	115					
21	出前講座実施 累計180件以上 (R7:累計60件)	46	85					
	(2) ICT人材の育成(1項目)							
22	大学が認定する会津大学発ベンチャー企業総数 40社以上 (R7:総数35社)	34	40					
	(3) 先端研究や人材育成、新たな産業の創出・集積(1項目)							
23	福島イノベーション・コースト構想等復興に係る取組 累計100件以上 (R7:累計32件)	48	88					

概況

No. 19

目標達成に向けて順調に取り組を進めた。2025年度は、大熊町、(株)エフコムとの新たな連携協定を締結した。今後も、県内企業や自治体との連携を強化し、ICT分野で地域貢献できるよう産学官連携を推進していく。

No.23

目標達成に向けて順調に取組を進めた。福島イノベーション・コースト構想推進機構と連携した復興知事業を通じて、南相馬市、相馬市などの浜通り地域の高校生等に対するプログラミング教育・ロボット技術教育を展開し、次世代の地域産業を担う人材の育成に取り組んだ。引き続き、重点分野の一つであるロボット・ドローン分野において会津大学の強みを生かした人材育成を推進するなど、福島復興・創生に取り組んでいく。

第4 業務運営の改善及び効率化に関する事項

大項目の成果目標に対する達成度

/

No.	中期目標項目	成果指標						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	達成状況
	(1) 働き方改革や男女共同参画を踏まえた働きやすい環境の整備(3項目)							
24	管理職（教職員のうち特別調整額支給対象者）における女性割合 中期目標期間終了時まで15%以上 (R7:12%)	12.1%	9.4%					
25	教職員の育児休業取得率100% (R7:75%)	100.0%	33.3%					
26	業務の見直し（再編）を図った件数 累計18件以上 (R7:累計6件)	2	7					

概況

No.25

目標達成に向けて更なる取組の強化が必要である。教職員が仕事と子育て等を両立させることができる環境を整備するための行動計画の策定や出産・育児に関する個別制度の説明により取得を促したが、2025年度は取得対象者3名に対して取得者は1名に留まった。今後は、育児休業の積極的な取得についての理解や意識改革を図るとともに、対象者に対しては、育児休業取得に向けた更なる情報の提供に加え、管理職による丁寧かつ寄り添った面談を実施し、取得率の向上に取り組んでいく。

公立大学法人会津大学の
中期目標に係る年度別報告書

第5 財務内容の改善に関する事項				大項目の成果目標に対する達成度		/		
No.	中期目標項目	成果指標						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	達成状況
	(1) 自己収入の増加、効率的な財政運営(2項目)							
27	外部資金等の獲得額（短期大学部を含む） 累計18億円（R7:累計6億円）	458, 661 （千円）	1, 092, 165 （千円）					
28	経常利益を毎年度計上する。	○	○					

【概 況】
No.27
目標達成に向けて順調に取り組を進めた。2025年度は、宇宙分野における新たな大型の受託研究などにより、前年度比で獲得額が大幅に伸びた。引き続き、受託研究や共同研究等につながるよう、様々な機会を通じて本学の研究成果等を広く発信するとともに、申請・応募へのサポートを充実し、公募情報を適時に周知するなど、外部資金等の獲得に取り組んでいく。

第6 教育及び研究並びに組織及び運営状況に係る 情報の提供に関する事項				大項目の成果目標に対 する達成度		/		
No.	中期目標項目	成果指標						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	達成状況
	(1) 中期目標及び中期計画における成果指標の実績を毎年度県へ報告(1項目)							
29	中期目標及び中期計画における成果指標の実績を 毎年度県へ報告する	○	○					
	(2) 教育研究等の取組や成果の国内外へ情報発信(1項目)							
30	ウェブサイト等での発信回数 累計2,400件 (R7:累計800件)	460	977					

【概 況】
No.30
目標達成に向けて順調に取り組を進めた。ウェブサイトやSNSにより、教育研究等の取組や成果などを積極的に発信しているところであり、引き続き、本学の教育・研究活動や法令等に基づく運営状況に関する情報を広く発信するとともに、大学の認知度向上と理解促進に取り組んでいく。

公立大学法人会津大学の
中期目標に係る年度別報告書

第7 その他業務運営に関する重要事項

大項目の成果目標に対する達成度	/	
-----------------	---	--

No.	中期目標項目	成果指標						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	達成状況
	(1) 服務規律の厳正保持、法令の遵守・徹底(2項目)							
31	公立大学法人ガバナンスコード（統治指針）を令和7年度末までに策定し、公表する。	○	○					
32	教職員を対象としたコンプライアンス研修を毎年度実施する。	○	○					

【概 況】
No.32 目標達成に向けて順調に取り組を進めた。外部講師を招いた対面でのコンプライアンス研修のほか、日英の動画を活用したハラスメント研修、研究活動に従事する教職員を対象としたe-ラーニング研修を実施した。引き続き、研修内容の充実を図るなど工夫しながら、効果的な研修の実施に取り組んでいく。